

こんな  
先生  
いるよ!

## 熱中症アラートを個人レベルに広げたい

都市の抱える問題の中で、熱中症に注目されているそうですね。

しばらく前から研究を重ねてきたテーマですが、環境庁と気象庁が作っている熱中症警戒アラートを、より個人に沿う形にすることを研究しています。

今後温暖化が進むと夏場はずっと警戒アラートが出続けるようになるでしょう。同じ気象条件でも、年齢、性、服装、活動状況などによっても熱中症リスクは違います。私の研究室では人体に入つてくるエネルギー量を評価する「人体熱収支モデル」や、暑さを正確に知るための「気象測定デバイス」、そして「新たなコンセプトの熱中症リスク指標」を作っています。

## 高専時代の友人と音楽でつながる

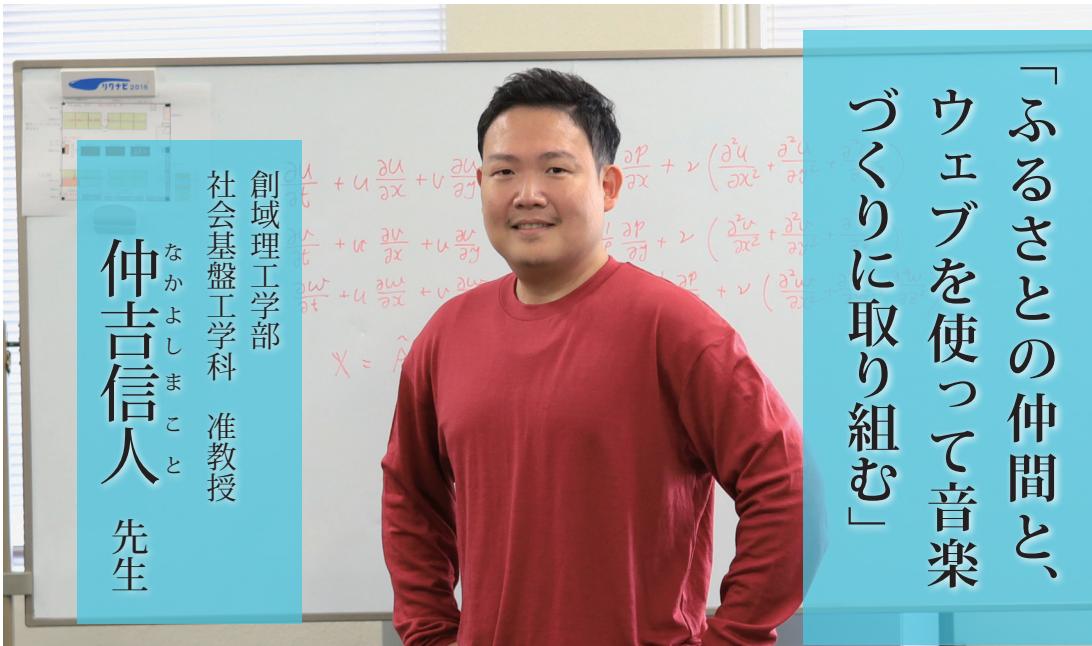
ふるさとのご友人と音楽づくりをしている  
とうかがいましたが。

私は高知高専で5年間を過ごし、その後大学へと進みました。当時バンドブームがあつて、私も友人と4人でメロディックパンク系のバンドを組み、自作曲を作り月1、2回ライブで演奏をしていました。

その後私は東京に出て、バンド仲間とはそれほど密な交流ができなくなりましたが、近年「Zoom」などで遠方の人とも楽に交流や打ち合わせができるようになりました。また、個人での録音機材の購入も随分ハードルが下がりました。そこでまた音楽づくりをやろうと思い立ち、当時のバンド仲間に声をかけたわけです。

仲吉信人 先生  
社会基盤工学科 準教授  
創域理工学部  
なかよしまこと

## 「ふるさとの仲間と、 ウェブを使って音楽 づくりに取り組む」



作詞・作曲は私と2名の友人が、アレンジ・演奏・レコーディング・ミキシングは私が担当しています。音楽ソフトを利用し、

8~10程度のパートを作っていますが、作るたびに、色々な周波数を使った方がいいなどか、音のぶつかりをうまく回避させようと、楽しい気づきがたくさんあります。

オケができたら地元・高知に住む友人のボーカル録りをして音源が完成、その後、大阪に住む友人がミュージックビデオ(MV)を作りYouTubeにアップロードします。ボーカル録音は、私が高知に帰ったときや友人の東京出張にあわせて私の家でやっています。みんな本業があるので、空き時間を利用して無理のない範囲で楽しんでいます。

現在YouTubeに3曲を掲載しています。

研究室の学生たちからも曲の評判が良く、学生が主体となって毎年作成している社会基盤工学科3年生向けの研究室紹介ビデオでも、仲吉研究室のものにはエンディングに私の曲が使われることが多いですね。

最近、学生との距離を縮める環境づくりを考えていると言う。

\*  
「アメリカ・ヨーロッパの大学は学生と教員がファーストネームで呼び合います。国内の理学系学科でも学生が教員を“さん”と呼んでいる場面を見聞きします。そういう雰囲気がいいなと思うようになり、学生から「仲吉さん」「まことさん」と呼んでもらい、めちゃめちゃ風通し良い研究室にしたいと思つて準備を始めています。」

[写真左] 音楽ソフトでの作曲にはいつも新しい気づきがあります

[写真右] 研究室の学生たちと。彼らとはファーストネームで呼び合う関係を作りたい



↑仲吉先生の  
チャンネルは  
コチラ

